

## 免疫の意味論

健康科学部長 松江 克彦

私が東北福祉大学に赴任したのが1994年4月である。東北大学医学部を卒業し、その後本学に赴任するまで、東北大学医学部神経精神科において精神疾患の治療と研究に従事していた。その間、特に力を入れたのが、統合失調症（精神分裂病から2002年に統合失調症へ名称変更）の病態解明についてであった。原因不明のこの疾患は、20世紀における精神医学研究のメインテーマであり、21世紀の今日においても同様である。青年期に発症することの多いこの精神疾患の特徴はいくつかあるが、特に急性期における自我障害が際だっている。自我の一貫性や不変性が侵され、自己と外界の区別すら曖昧となる。現在、本学の大学院において「自我同一性」の確立を中心としたE・H・エリクソンの所説の再検討を中心に講義を行っているのも、その背景に人間の自我の成り立ちへの強い関心があるからである。自己が自己であることは私達にとって当たり前のことであるが、統合失調症においてはその当たり前のことが疑問に付されるのである。

『免疫の意味論』は、私が本学に赴任した直後に読んだこともあって格別印象深かったことにもよるが、この著作で展開される「免疫システム」とは、自己と自己ならざるもの（非自己）との戦いのメカニズムなのである。たとえば臓器移植の例をみると、他者の臓器にたいする拒絶反応が起こることはよく知られている。身体はどのようにして移植された他者の臓器を、細胞レベルで自己ならざるもの、すなわち非自己として看破し、それを攻撃するのか。その背

景には、自己の身体が、細胞レベルにおいて常に自己を自己として確認し続けているということに基づいているという。このような免疫における絶えざる自己確認と、非自己の侵入にたいする警戒システムは、私達が精神レベルで他から自己を区別することで自我を成立させていることと極めて類似している。この著作は、自我障害を呈する統合失調症の病態への精神医学的探求と重なり、私の関心を引きつけて止まない。

著者の多田富雄は、千葉大学医学部を卒業して免疫の研究を続け、後に東京大学医学部教授となり、この著作によって1993年大佛次郎賞（主に優れた文学に与える賞）を受賞した。この著作が優れた文学に与える賞を受賞したことは奇異に思われるかも知れないが、免疫に関する医学的研究の歴史や、免疫という身体におけるシステムを、精神の背景にある神経系や社会のシステムまで延長して捉える視点は、優れた医学的物語というだけでなく、文学的物語のそれに近いのである。その点で免疫システムの成立は、私達の人生の成立にさえ示唆を与えてくれる。

本学に健康科学部ができ、現在「免疫学」の講義も行われるようになった。免疫に関する専門用語や遺伝子用語が使われたり、そのシステムの構造についての仮説など難解な面はあるが、著者は医学者でない人にもわかるように専門用語の解説を加えている。また近年問題になっている花粉症のようなアレルギー疾患の解説も興味深い。免疫を学ぶ健康科学部の学生には是非勧めたい。興味のある人は、同じ視点からの次作品である『生命の意味論』も読むと良いであろう。



多田富雄著  
『免疫の意味論』  
青土社、1993.4

所在：491.8 Ⅱタタ  
学生閲覧図書



## 図書館利用シリーズ 7

### 新コーナー誕生

書庫カウンター、ビデオ・DVDがすべて2Fに移動し、“パソコンコーナー”と“児童書コーナー”が新登場です!!また、“美術書コーナー”が1Fに移動しました。

パソコン、ビデオ・DVDの利用申し込みは2Fカウンターで行います。

児童書コーナーは、所在が「絵本」「大型絵本」「紙芝居」の資料を集めたコーナーです。すべて貸出可能な資料ですので、授業や実習などにも大いに活用してください!

是非、リニューアルした図書館2Fに足を運んでみてください。

定期的に、館員オススメの絵本や紙芝居などを紹介しています。40cm以上もある大型絵本も続々受入中です。太陽の光が差し込む明るい“児童書コーナー”で、ゆったりと絵本を読んでみてください。



“パソコンコーナー”  
& “2Fカウンター”



## 図書館日記

- 館内での1コマ -

図書館員が使う道具に『ブックトラック』というものがある。図書館を利用した際に、一度は見かけたことがあると思う。図書館員が本を並べているとき通路に置かれていたり、ガラガラと押し回したりするアレだ。

読んで字の如く本をのせて運ぶだけものだが、これが有ると無いとでは作業効率に雲泥の差がでてくる。なぜか? ことは単純、本は「重い」からだ。

1冊1冊は大したことはないが(・・・なかには一冊が大した重さの本もいらっしやるが)100冊200冊・・・1000冊!!!となると、もう個人の力ではどうにもできない程重い。仮に本1冊の重さを約500gとして、それが100冊集まったら50kgとなり、人間が一人で運搬するにはちょっと非効率的な重さとなる。

そこで活躍してくれるのが「ブックトラック」である。これにのせて運べば200冊程度は余裕で運べてしまう。逆にこれが無いと大変しんどい事態となる。例えば本を書棚に戻す作業一つにしても酷く時間がかかってしまう。本を移動させたり整理する作業には必ず必要な図書館員のツールであり、我々の仕事には切実に欠かせない「相棒」なのである。

このブックトラックには大きさや形状が異なる物が数種類あり、用途によって使い分けられているのだが、図書館員それぞれに相性というか好みがあり、「これが使い易い」「これはいまいち」

などと各々こだわりがあり中々にうるさい。まあ、それだけ我々の仕事に密接に関わっているもの、という事なのだが。

我々の手足として働いてくれ、図書館になくはならない縁の下の手持ちである彼らを館内で見かける機会があれば、そっと応援して欲しい。





## スタッフ紹介 part5(パート・アルバイト)



\* UGA は、Under Graduate Assistant の略です。



まだ慣れないことが多くて戸惑うこともありますが、早く慣れることが出来るよう頑張りたいと思いますので、よろしくお願い致します。

社会教育学科4年 鈴木 美楠子

図書館で働くことに憧れていたのでも楽しく勉強させてもらっています。まだ仕事に慣れていないので御迷惑をお掛けするかもしれませんが、よろしくお願い致します。

社会教育学科3年 菅原 奈津子

利用者の方々がスムーズに図書館を利用出来るように、自分なりに精一杯頑張りますので宜しくお願いします。

社会教育学科3年 鈴木 聖美

本を読むのが好きで伊坂幸太郎さん・森見登美彦さんが好きでよく読んでいます。まだ不慣れで迅速な対応ができないかもしれませんが、気軽に声をかけてください。

社会教育学科3年 倉田 美央子

図書館内の仕事はどれも新鮮で楽しいです。まだまだ手際は悪いですが、よろしくお願い致します。

情報福祉学科3年 阿部 祐子

まだ図書館の仕事に慣れていませんが、早く迅速に対応できるように努めたいと思います。よろしくお願い致します。

情報福祉学科3年 江戸 郁美

図書館の仕事は初めて学ぶことばかりで大変ですが、本が好きなので楽しいです。より良い図書館づくりに貢献できるように頑張るので、よろしくお願い致します。

情報福祉学科3年 宮林 沙知

小さい頃から読書が好きで、現在は司書の資格取得に励んでいます。至らない点ばかりですが、頑張っていくので宜しくお願いします。

情報福祉学科3年 渡邊 沙織

司書資格取得を目指しているため、UGAの経験を通して図書館について勉強しながら、パソコンのサポートもしていけたらと思っています。宜しくお願いします。

情報福祉学科3年 村松 紋佳

まだ慣れない事がいっぱいですが、図書館UGAとして、みなさんが利用しやすい環境になるようにサポートしていけるよう頑張ります。よろしくお願い致します。

情報福祉学科3年 宇佐美 香苗

何かパソコンなどで分からないことがありましたら気軽に聞いてください。自分の知識をフルに使って、皆様をお助けいたします。よろしくお願い致します。

情報福祉学科3年 泉 有香

本が大好きです。よろしくです。

情報福祉学科4年 今野 博文

今年度から図書館で仕事をさせていただくことになりました。早く仕事になれて、多くの方に図書館を利用していただけよう頑張っていきたいと思います。

千葉 早織

図書館には勉強をしに行ったことしかなかったため、UGAの仕事を通して本の知識を色々身につけたいと思います。よろしくお願い致します。

情報福祉学科3年 阿部 美星

4月より図書館2Fカウンターで図書館UGAとしてworkすることになりました。Nice 2 meet U! ということで、早くjobをこなしていきたいと思っています。宜しくお願い申し上げます。

情報福祉学科4年 三村 卓也

図書館UGAとして、同じ学生の目線からパソコンや本を利用する方々に使いやすい環境を提供していけるよう頑張ります。

情報福祉学科4年 大石 恵生



## 貸出の多い本



### 学問本・書庫本

1. 遊びリレーション学 / 三好春樹, 上野文規, 下山名月著 / 雲母書房 / 1999

2. 高齢者福祉の倉庫と世帯福祉開発 / 松村直道著 / 勁草書房 / 1998

3. 障害者の心理と支援 / 田中農夫男 [ほか] 編著 / 福村出版 / 2001

4. ニッポン貧困最前線 / 久田恵著 / 文藝春秋 / 1994

5. 老年心理学 / 下仲順子編 / 培風館 / 1997

5. 自閉症や知的障害をもつ人とのコミュニケーションのための10のアイデア / 坂井聡著 / エンバワメント研究所 / 2002

### ベストセラー

1. 陰日向に咲く / 劇団ひとり著 / 幻冬舎 / 2006

2. 恋空 : 切ナイ恋物信吾 / 美嘉著 / スターツ出版 / 2006

3. 鈍感力 / 渡辺淳一著 / 集英社 / 2007

4. 純愛 / 稲森遥香著 / スターツ出版 / 2007

5. かもめ食堂 / 群ようこ著 / 幻冬舎 / 2006

## 図書館からのお知らせ

### 図書館ツアー

実際にPCを使った資料の検索方法説明と、図書館内を案内するツアーを水曜日に実施しています。普段入ることのできない書庫も案内しますので、ぜひ参加してください。

3F中央カウンターで受付中です。(ゼミ単位・個人)

### 新設2Fカウンター!

PC、AV資料、書庫本の手続のほか、貸出・返却も行います。どうぞご利用ください。

### 各種パスファインダー

図書館の利用方法を分かりやすく解説した、A5サイズのリーフレットを作成しました。図書館の利用について分からないことがあったら、中央カウンター前で手に取ってみてください。図書館HPでも見ることができます。

夏季休業中の長期貸出は下記の日程で開始します。

期間 : 平成20年7月22日(火)~

返却日 : 平成20年9月3日(水)

対象資料 : 図書 \*ベストセラーも含む

## 編集後記

今回は、健康科学部長の松江克彦先生にご協力いただきました。お忙しい中、ありがとうございました。皆さん、先生おすすめの『免疫の意味論』『生命の意味論』を、ぜひ図書館で手にしてみてください。

この4月から2Fカウンターも設置され、また児童書コーナーも誕生したことで図書館内の雰囲気も変わったと思いませんか? 利用しやすい図書館であり続けるよう、利用する方々の目線で考えていきたいと思っています。

石川・熊谷

東北福祉大学図書館報「としよかんぼう」 7 2008年6月  
編集・発行 東北福祉大学図書館 〒981-8522 仙台市青葉区国児1-8-1  
TEL:022-717-3319 FAX:022-717-3309  
E-mail: lib@tfu-mail.tfu.ac.jp  
http://www.tfu.ac.jp/libr/tful.html